

令和5年度 第2回一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録(要旨)

- ・日 時:令和5年11月24日(金) 午前10時30分～11時30分
- ・会 場:一宮市役所本庁舎6階 特別会議室
- ・出席者:委員13人 ※欠席委員5人
- ・傍聴者:0人

1 開会

総合政策部長あいさつ

2 議題

- ・総合戦略改訂版(素案)の検討について

○事務局から資料1、2について説明

○委員からの意見と事務局回答

▼委員からの意見

- ・ デジタル化を含んだ総合戦略の改訂案ではあるが、高齢者のなかには「デジタル化」という単語自体に拒否反応を持つ人もいる。デジタル化を進める一方で、行政が情報格差(デジタルデバイド)を持つ高齢者に対して教えるなど、置き去りにしないようにしてほしい

▽事務局回答

- ・ 委員のご発言通り、事務局としても情報格差を持っている方々がいるのは承知している。素案では、国の総合戦略を勘案してタイトルに「デジタル」という文言は含んでおり、実際にデジタルの要素も含んでいるが、従来の当市の総合戦略を踏襲しつつ、デジタルの力を活用して、より地方創生を推進していくものとなっている

▼委員からの意見

- ・ 素案28ページの基本目標5②「デジタルとグリーンで快適なまちづくりの推進」で、緑化についての記載があるが、具体的な施策を教えてほしい

▽事務局回答

- ・ 素案にも記載があるとおおり、工場や倉庫などの施設内の緑化を推進する条例があるほか、緑化を促進する補助金などもある。今後については、担当課とも調整しながら具体的な施策を検討していく

▼委員からの意見

- ・ 企業誘致の推進にあたっては、一宮市の特徴である不純物が極めて少ない工業用水と、工場内に大規模な排水処理設備を要しない全国的にも稀な特定公共下水道を、PRしてほしい。
- ・ グリーントランスフォーメーション(GX)は脱炭素化などを指す言葉であり、素案の28ページに記載されている「緑化」については該当しないのでは

▽事務局回答

- ・ 工業用水ならびに特定公共下水道の件については承知した。担当課にも共有する
- ・ 素案の「グリーン」とは脱炭素化を含む GX だけでなく、市内の緑豊かな環境をより良くする、という意味での緑化も含んだものである

▼委員からの意見

- ・ 愛知県の総合戦略も改訂中であると認識しているが、タイトルが確定していたら教えてほしい。また、愛知県の総合戦略は、県内各市の総合戦略についてイニシアティブを執っているのだろうか

▽事務局回答

- ・ 愛知県の総合戦略については、タイトルが確定しており「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2023-2027」となっている。素案の作成段階ではタイトルが確定しなかったことと、国は「デジタル田園都市国家総合戦略」としている一方、県では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の名称を踏襲しているため、混乱を避ける理由で、愛知県については「地方版総合戦略」としている
- ・ 完全にイニシアティブを執っている形ではないが、愛知県の総合戦略にもデジタルの要素が組み込まれているため、市としても県の総合戦略を勘案している形となっている

▼委員からの意見

- ・ 素案の中に高齢者についての記載で特出したものはないが、高齢者が気軽にかけられる交通網の整備などを意見として申し上げる

▽事務局回答

- ・ 現在、第3次公共交通計画は策定途中であるが、担当部局とも調整して総合戦略についても整合性を合わせたいと考えている

▼委員からの意見

- ・ 素案4ページにおいて、愛知県の総合戦略を地方版総合戦略と記載しているが問題ないか

▽事務局回答

- ・ 問題ない。国は総合戦略、地方公共団体は地方版総合戦略として、名称を整理している

▼委員からの意見

- ・ 総合戦略に記載している数値目標や KPI については、計画期間中に目標値も含めて変更は可能か

▽事務局回答

- ・ 可能である。例えば、市の人口ビジョンは国の人口についての長期ビジョンをもとに作成しているが、この長期ビジョンが大幅に変更となれば、市の人口ビジョンも変更となり、それに伴い、人口に関する KPI などを変える可能性もある
- ・ また、KPIによっては新型コロナウイルス感染症の影響により減少したのもあれば、さほど影響も受けずに上昇したのものもあるので、数値目標や KPI については、ケースバイケースで考えていきたい

▼委員からの意見

- ・ 放課後児童クラブの待機児童数については、待機児童「0」を達成している、かつ子ども数も減少傾向であるため、KPIとしては適さないという見方もあるのでは
- ・ どちらかといえば、待機児童数を発生させない取組(プロセス)についての KPI を設定すべきなのでは

▽事務局回答

- ・ 担当部局に尋ねたところ、市内で子どもの数が多い、少ないという地域差もあるので、保育園の待機児童数も含めて、待機児童が発生しない取組が重要であるとのこと
- ・ また、担当局に放課後児童クラブの待機児童数以外で KPI が設定可能かと問い合わせたところ、他のものを KPI として計上するのは難しいという回答を得た

▼委員からの意見

- ・ これからの学校の在り方を検討する「シン学校プロジェクト」を総合戦略に記載しないのか

▽事務局回答

- ・ 事務局内でも検討したが、具体的に事業化をしていない段階なので、今回の改訂では見送ることとなった。ただ、今後のプロジェクトの進捗状況を鑑みて、次回の改訂時などのタイミングで記載する可能性あり

▼委員からの意見

- ・ 素案の28ページにある、公金のキャッシュレス決済などは行政手続きのオンライン化ではなく、手段ではないのか
- ・ GX については、これからの企業の存続にかかわる非常に重要な分野であるため、地域新電力会社から再生可能エネルギー由来の電力を公共施設へ供給する以外に企業や個人への補助金など、より踏み込んだ事業を実施するべきではないのか

▽事務局回答

- ・ 確かに公金のキャッシュレス決済は手段であるが、市役所の事業としてはスマート自治体の取組が該当しており、各課で徐々にではあるが行政の手続きについてのオンライン化を推進している状況である
- ・ 現状、企業への補助金などの具体的な事業は有していないので、今後も担当部局とも検討して GX の取組を推進していきたい

3 閉会